



政務活動報告書

活動事項	島根原子力発電所、山陰合同銀行の視察及び意見交換
活動年月日	平成29年7月4日(火)
場所	① 島根原子力発電所(松江市鹿島町) ② 山陰合同銀行本店(松江市魚町)
活動の相手方	① 島根原子力発電所 副本部長 長谷川千晃氏 他 ② 山陰合同銀行 常務執行役員 今若康浩氏 他
目的・内容 ・結果等	<p>【目的・内容】</p> <p>① 島根原子力発電所の安全対策状況の現地確認。 ② 地方創生における金融機関の役割やあり方について意見交換</p> <p>【内容】</p> <p>① 東日本大震災の教訓から防潮堤の高さを確保し、発電機器の安全対策の強化などの対応について説明を受け、現地においても確認した。 ② 地方創生のため起業・創業者に対する融資や営業指導など、金融機関として取り組めることについて意見交換を行った。</p> <p>【結果(成果)等】</p> <p>① 原子力発電は有効な電力供給減である一方で、事故等発生時には周辺地域に対し大規模かつ深刻な影響を及ぼすという危険性を持っている。 中国電力が再稼働に向け安全対策強化を進めている中で、行政としてどのように原子力発電に向き合っていくのか、今後の大きな課題であると認識を新たにした。 ② 地方創生を進めるには、様々な芽を発見し育て、地元産業の発展につなげていくことが必要であり、その中で金融機関が持つ資金や経営ノウハウは重要な役割を果たすものである。 同行の取り組みがより効果的に地方創生につながっていけるように、今後の行政の施策に提言していきたい。</p>
関連領収書番号	3-17